

No. 962

企業  
**zoom up**  
飛天ジャパン

高品質の使えるセキュリティを開発

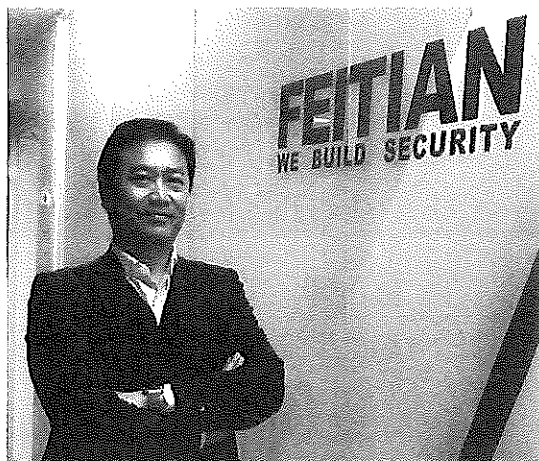
日本は先進国のなかでも情報セキュリティ対策への意識が低いと言われている。特に中小企業では「IT管理者がいない」「自社サーバを導入しても使えない」といった理由から、IT化やセキュリティ対策が遅れている会社が多い。

飛天ジャパン(株)は、セキュリティソフトウェア事業を主力に、フィンテック向けの決済端末の開発に特化している。セキュリティソリューション対策製品の企画開発から製造までワンストップで行う高い技術力を有している。これまで官公庁、電機、通信など500社以上との取引実績を持ち、業界内でも高い知名度を誇る。身近なものでは、銀行のインターネットバンキングで使う「ワンタイムパスワード」や、タクシーや小売店向けの「モバイル決済端末」など大手企業で採用されている。

「当社は、国際基準のセキュリティデバイスを作っています。多要素認証のクラウドサービスや人的ミスによる情報漏えい防止ソフトウェアも開発や販売、運営を行っています」(李社長)。近年では「働き方改革」として在宅ワークや会社に常駐しないフリーアドレスの導入など労働環境が多様化している。社内のネットワークにアクセスする「VPN接続」は、ハッカーのなりすましによる情報漏えいリスクが高く、高度な認証が不可欠だ。

近時シェアが拡大している「モバイル決済端末事業」については「Suica」等の交通系ICカードや電子マネー、QRコード決済の需要が高まってきている。当社ではセキュリティの要素を生かして、QRコードなどをスキャン・決済するデバイスの引き合いが増えているという。

「セキュリティの要素を生かして安全で高品質な製品を開発していきたい」と語る李社長



「昨年からAI(人工知能)事業をスタートし、大手企業が手がける複合カフェの国内初となる完全自動化セルフオペレーション店舗に顔検知システム『顔認証AIスタッフ』が採用されました」(李社長)。同システムは、顔を検知して入出の案内動画を流すほか、今後は顔の特性で年齢や性別を識別し、マーケティングデータとしての活用も可能だ。スポーツジムやヨガスタジオなど会員制向けの顔認証セルフチェックインをはじめ、食品小売店向けに商品を画像で認識するセルフレジのリリースも予定されている。

「2019年はAI革命が始まるタイミングです。セキュリティのノウハウを生かして、セルフレジ、顔認証のサイネージ、自動チェックイン等の商品を作って拡販していきたい」(李社長)。中小企業が導入しやすいコストで画期的な新製品の開発を進める当社。最先端の技術で次世代に革命を起こしていくだろう。

(取材・文/東京支社情報部 田中 祐実)

会社概要

飛天ジャパン(株)  
 TDB企業コード: 988997572  
 法人番号: 7010001098150  
 東京都中央区日本橋小網町9-3  
 電話: 03-3668-6668  
 代表: 李 戦海氏  
 設立: 2006年3月  
 資本金: 1600万円  
 事業内容: セキュリティ製品の開発・販売、モバイル決済端末販売  
 年売上高: 約10億円(2019年1月期見込み)  
 従業員: 20名  
<https://ftsafe.co.jp/>